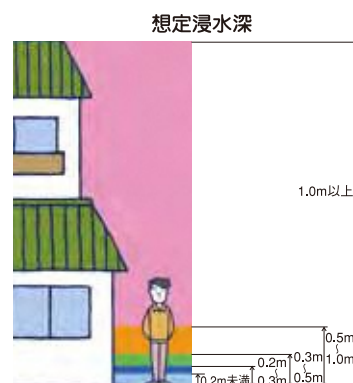


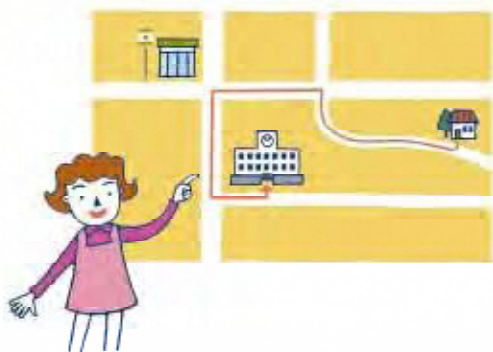
I ハザードマップの使い方

浸水ハザードマップとは？

水害ハザードマップは、大雨により浸水が予想される区域と避難するときに必要な情報を市民の皆さんにお伝えするものです。



避難経路や避難場所を確認しましょう



大雨や夜間は視界が悪いことを想定し、安全な避難ルートや最寄の避難場所などを家族で確認しておきましょう。水害ハザードマップに矢印を記入しておくこと、いつも確認することができます。

家族で情報の共有をしましょう

タイトル面下にある『わが家の防災メモ』に、家族の名前、緊急連絡先、わが家の集合場所・避難場所などを記入し、家族の間で情報を共有しておきましょう。



避難時の持ち物をチェックしましょう




持ち物チェックリストをもとに事前に避難の準備を行い、緊急時にすみやかに持ち出せるようにしましょう。

II 気象情報と雨の降り方

特に注意が必要な気象情報


名称	内容
大雨注意報	1時間雨量が平坦地で25mm、平坦地以外で30mmになると発令されます。
洪水注意報	
大雨警報	1時間雨量が平坦地で40mm、平坦地以外で50mmになると発令されます。
洪水警報	

雨の強さと降り方




10^{ミリ}～20^{ミリ}
やや強い雨

ザーザーと降る。地面からの跳ね返りで足元がぬれる。




20^{ミリ}～30^{ミリ}
強い雨

どしゃ降り、地面一面に水たまりができる。



30^{ミリ}～50^{ミリ}
激しい雨

バケツをひっくり返したように降り、傘をさしてもぬれる。



50^{ミリ}～80^{ミリ}
非常に激しい雨

滝のようにゴーゴーと降り続き、傘は全く役にたたなくなる。



80^{ミリ}以上
猛烈な雨

息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。

※表示する雨量は1時間の最大値を示します。

※ゲリラ豪雨(予測困難で局所的な大雨)には、特に注意が必要です。

Ⅲ 浸水のメカニズム

雨の降り始めから河川氾濫までの流れ



非常に激しい雨が降ると…



排水路などで排水ができずにたまります。



川の水位が上昇し破堤や越堤します。

※水害ハザードマップは、河川氾濫する前の内水氾濫を想定した図です。

予想される災害



大雨が降り、川の水位が上がると排水路からうまく排水されず浸水します。



大雨が降り、道路側溝にゴミなどが詰まり、うまく排水されず、道路に水がたまります。



高速道路の高架下や地下道など、道路が低くなっている所に雨水がたまります。



川の水位があがり、堤防を越えたり堤防がきれて、水が流れ出て浸水します。

IV 情報の種類と伝達経路

避難情報の種類

① 避難勧告

過去の災害事例や地形などから判断し、災害発生のおそれがある場合に行います。災害の規模や状況により、それぞれ危険地域に及ぶものです。

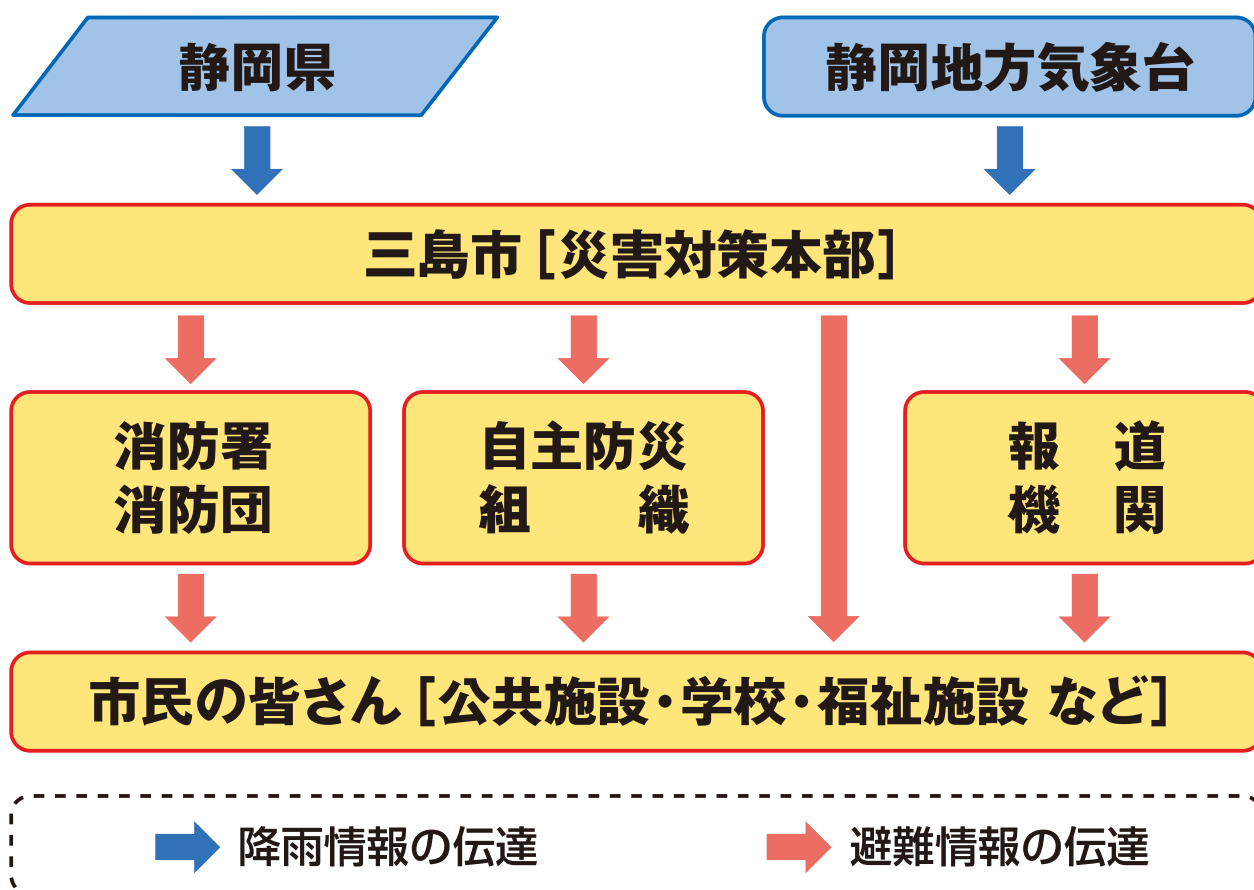
≫避難所への避難を始めましょう!

② 避難指示

事前避難の時間がなく、災害の発生が確定的な場合、または一部に災害が起こった場合、その地域全体に及ぶものです。

≫ただちに避難しましょう!

情報の伝達経路



V 避難情報の取得方法

市のホームページ

三島市ではホームページで防災・災害・避難情報を提供しています。

みしま防災・災害情報

<https://www.city.mishima.shizuoka.jp/bousai/>

モバイル版

携帯ページはこちら



緊急情報とお知らせ情報を携帯サイトで見ることができます。

広報車



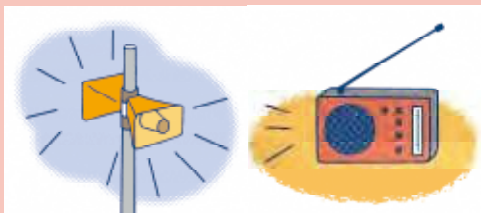
市・消防署・消防団の広報車で巡回し、お伝えします。

個別巡回



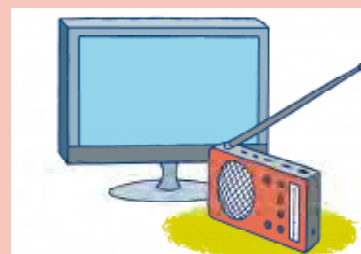
夜間や停電時は、市職員や自主防災組織の担当者が巡回し、電話や口頭でお伝えします。

同報無線



市内に設置したスピーカーや市で販売する防災ラジオを通して避難情報をお伝えします。電話でも確認できます。フリーダイヤル:0120-212-184

ラジオ・テレビ放送



報道機関よりラジオ・テレビをとおして、お伝えします。

>>FMみしま・かなみ77.7MHz

市民メール配信(みしまるホットメール)

事前に登録しておくことで、パソコンや携帯電話の電子メールより避難勧告や災害情報を入手できます。

市民メール配信(みしまるホットメール) URL

<https://www.city.mishima.shizuoka.jp/ipn009218.html>

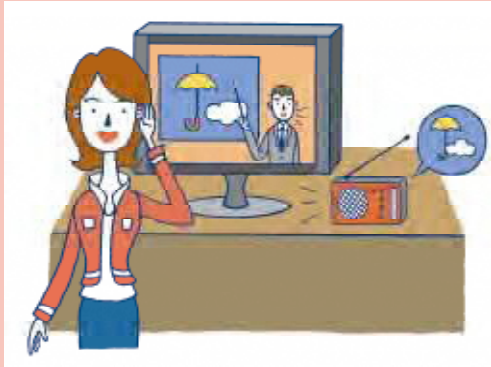
モバイル版

携帯ページはこちら



VI 避難するときの心得

① 情報収集



ラジオや広報車などから情報を集めましょう。

② 動きやすい服装



動きやすい服装にし、2人以上で避難しましょう。

③ 足元に注意



道路側溝や水路、マンホールに注意しましょう。

④ 無理はしない



もし逃げ遅れたときは高い建物（3階以上）に避難しましょう。

⑤ 避難時に助けが必要な人への協力

災害時、周りには自力ですぐに避難できない人がいます。隣近所と声を掛けあい、助け合いの気持ちを大切にしましょう。



妊婦・子供



高齢者



体の不自由な方



目・耳の不自由な方



外国人

VII 持ち物チェックリスト

日頃から準備を行い、いざというときに備えましょう。
非常持ち出し袋は両手の空くリュックサックが便利です。
家族の誰もがすぐ持ち出せるように、わかりやすい場所に保管しましょう。

チェックリスト

ハザードマップ



貴重品



雨具(カッパ)



軍手



懐中電灯
(予備電池含)



ラジオ



ロープ



マッチ・
ライター



ろうそく



飲料水



非常食



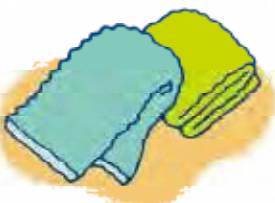
医薬品



衣 類



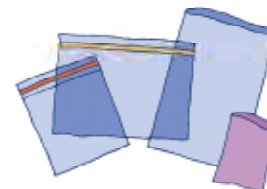
タオル



ティッシュ



ビニール袋



洗面用具



子供用品



介護用品



その他

()

VIII 外水氾濫想定区域図

一級河川狩野川・大場川流域浸水想定区域図は、伊豆半島中部（湯ヶ島）で総降雨量753mm（昭和33年9月の狩野川台風時）を想定して、河川管理者である国及び静岡県で作成されたものです。内水氾濫が発生すると同時、もしくはその後には河川の増水により破堤・越堤により被害が拡大する可能性があります。大雨が発生したときは、常に災害情報に注意をはらい、早めに対応するよう心がけましょう。

既往洪水の状況						
洪水名	最大1時間雨量		最大日雨量		総雨量	
	湯ヶ島	三島	湯ヶ島	三島	湯ヶ島	三島
狩野川台風	120.0mm	10.6mm	690.8mm	68.8mm	739.3mm	89.0mm
S49.7	21.5mm	53.0mm	90.2mm	298.5mm	90.2mm	298.5mm
S57.8	65.0mm	46.0mm	453.0mm	224.0mm	487.5mm	269.0mm
H10.8	56.0mm	33.0mm	230.0mm	193.0mm	489.0mm	259.0mm

一級河川 狩野川・大場川流域 浸水想定区域図

